

a 学校教育目標	夢に向かって ともに学び ともに伸びる子どもの育成 ～ かがやけ南 心はひとつ ～	b 経営理念 (ミッション・ビジョン)	【ミッション】(自校の使命) 夢をもち、未来を切り拓く子どもの育成 【ビジョン】(自校の将来像) みんなの笑顔があふれる、安心・安全な学校 自分や相手を受け入れ協力して活動、自己決定できる子ども 一人一人の子供を大切にし切磋琢磨し挑戦する教職員
-------------	--	------------------------	---

評価計画				自己評価					改善方針	学校関係者評価				
c 中期経営 目標	d 短期経営 目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	8月	2月	i	j	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値	達成度	評価			イ	ロ	ハ	
確かな学力	主体的・対話的で深い学びを追求する	自ら考え学び合う児童	<ul style="list-style-type: none"> ○算数科における改善の視点を明確にした、子ども起点の授業づくり ・深い授業研究に基づく「問いの探究と解決、振り返り(R80)」を視点にした授業改善を進める。 ・組織的・意図的・計画的に授業研究、理論研修を積み重ねる。 ・教師用デジタル教科書を毎時間活用する。 ○基礎学力の定着の取組の徹底と個別支援の充実 ・既習事項の学び直しと個別目標を設定した繰り返し学習を継続する。 ・放課後の学力補充とプリント等の直しをやりきる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元末テスト(国・算)の学校平均点 8月…4月～7月分 2月…9月～2月分 単元末テスト80%以上 児童アンケート・項目80%以上 ○児童アンケート調査 ・「自分の考えを図・式・ことばなどで友達に伝えることができた」と肯定的に回答する児童の割合 ○振り返り(R80)の実施 ・単元当たりの振り返り(R80)実施率 ・振り返り(R80) 自校の評価基準C以上 										
豊かな心	自他を尊重する心情・態度を育てる	思いを受け止め認め合う児童	<ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心な風土の醸成 ・伸びやかな中にも規律ある集団を目指し、学習集団づくりの充実と学習規律の徹底を図る。 ・「南小スタンダード」(挨拶・廊下歩行・言葉遣い・時間を守る・話の聴き方)を徹底する。 ・学校のきまり、生徒指導規程の見直しと改定を行う。 ○学級・学年経営を基盤とした支持的風土の醸成 ・生徒指導の4つの視点を生かした児童支援を行う。 ・児童同士のかかわりをもたせ、自分や友達のよさに気づき、認めある場を意図的につくる。(児童会活動、学年交流、縦割り班活動等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○Hyper-QUIによる学級満足度 全国平均値との比較 学級満足度 全国平均以上 児童アンケート80%以上 ○児童アンケート調査 「自分にはよいところがある」「よさを友達に認められている」肯定的に回答する児童の割合 										
健やかな体	心身の強さと運動能力の向上を図る	切磋琢磨し高め合う児童	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しみながらできる体力づくりの推進 ・実技研修(年2回)を実施し、児童の運動量の確保に向けた体育科授業改善に取り組む。 ・単元に応じた基礎運動を取り入れる。 ○食育の推進 ・栄養士による食育指導を年間3回以上行う。 ・給食委員会による給食のもりもりキャンペーンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケート調査 ・「体を動かすことが楽しい」「苦手なものを少しでも食べた」肯定的に回答する児童の割合 ○「給食もりもりキャンペーン」達成率 達成率80%以上 ○体力テスト全国平均以上の項目の割合 ⑥ 体力テスト60%以上 										
信頼される学校	保護者、地域の願いに応え、信頼される学校づくりを推進する	「地域とともにある学校」に向けた基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールの推進 ～みんなの力で なせばなる みなみの宝 育てよう～ ・方針、年間計画の決定 ・地域、保護者と連携し、開かれた学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケート 「自分たちの発表を地域の人に喜んでいただけてよかった」肯定的に回答する児童の割合 児童アンケート80%以上 ○計画に沿って進めるとともに、定期的に進捗状況を確認し改善点について協議する。 年3回 										
		健康でやりがいを持って勤務できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○支持的風土の醸成と自己研鑽による人間力の向上 ・チーム力を活かし、計画的・協働的に業務を推進する。 ・改善を主体的に進め、教職員のワークバランスとメンタルヘルスを大切にしたい働き方を追求する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○勤務時間外の在校時間が年間360時間未満の教職員の割合(目安) 前期…180時間以下 後期…360時間未満 ⑦ 教職員の割合80%以上 ○教職員アンケート 「チームとして解決に取り組んでいる」肯定的に回答する教職員の割合 ⑧ 教職員アンケート90%以上 										

【j: 自己評価・評価】
A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

【l: 学校関係者評価・評価】
イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: 分からない。